

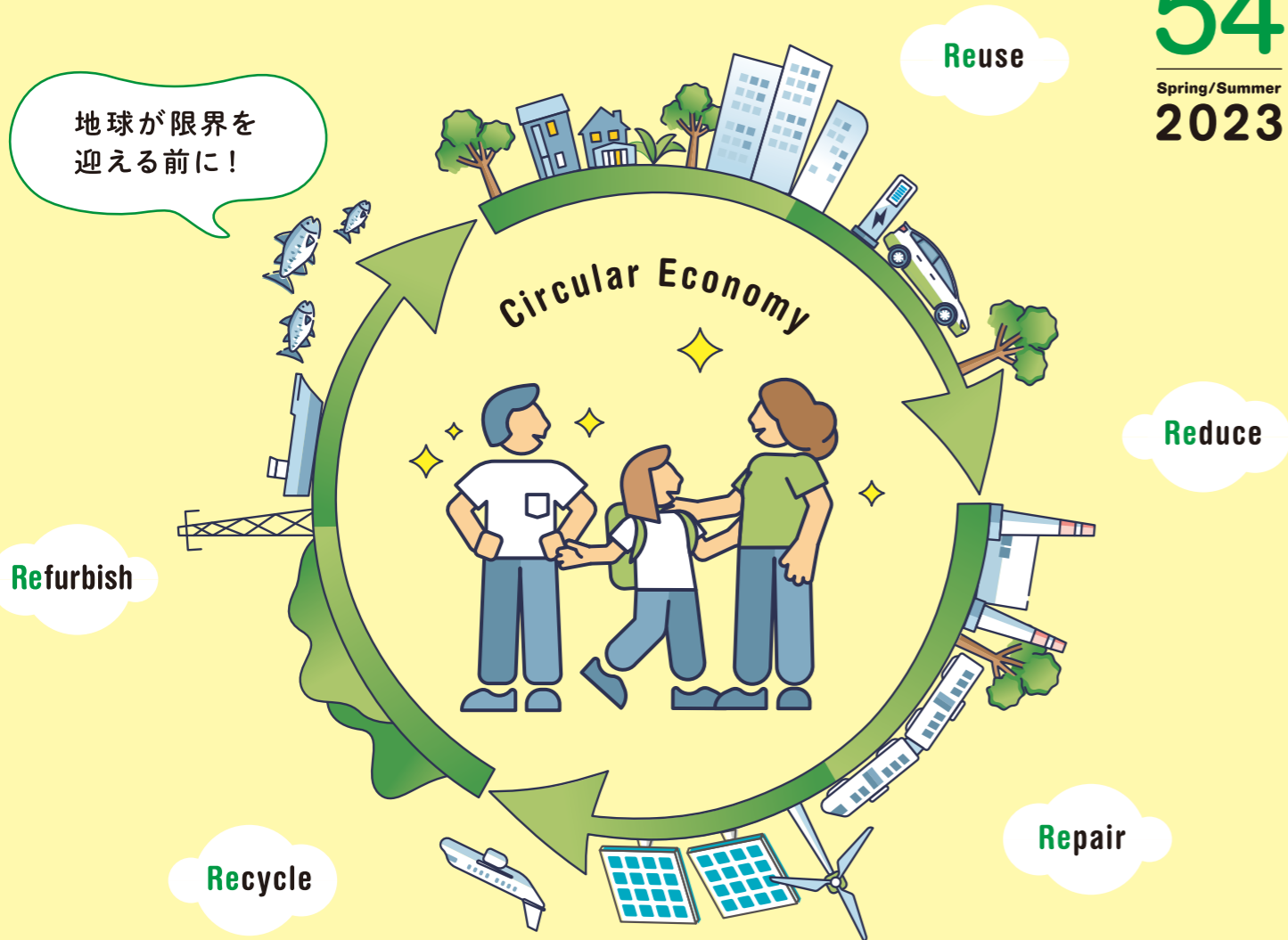
NGO・NPOの環境保全活動を支援します

～ 環境再生保全機構 ～

地球環境基金便り

インタビュー 平野レミさん

No. 54
Spring/Summer
2023



ライフスタイルが変わる サーキュラーエコノミー

- 02 | Special issue
 - ・車で考えてみよう
 - ・NGO・NPOの活動事例から
- 07 | We are 環境 Player!
 - 若手プロジェクトリーダー研修
- 08 | みんなの環境活動
 - 10 | サポーターインタビュー
 - 13 | 第8回 全国ユース環境活動発表大会 地方大会 開催報告



NGO・NPOの環境保全活動を支援します

地球環境基金便り

No. 54
Spring/Summer
2023

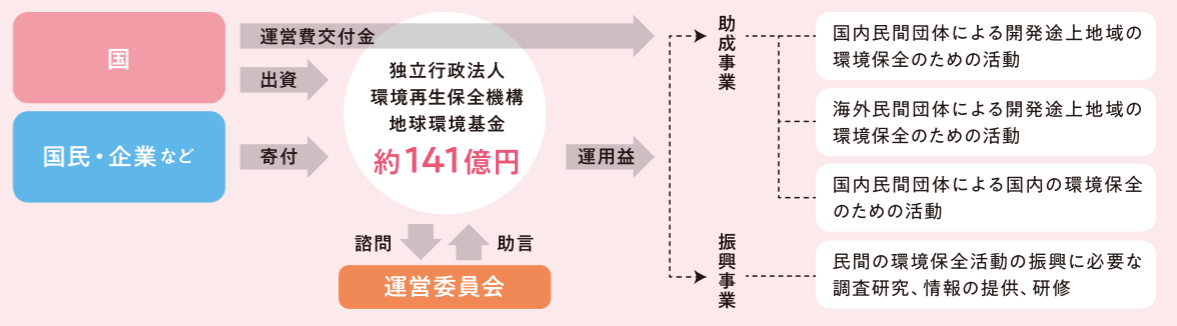


Special Interview | REMI HIRANO

平野 レミ

捨てる前に何かできないか考えるの。

地球環境基金とは 環境再生保全機構は、国の出資金と民間からの寄付金により「地球環境基金」を設け、その運用益と国からの運営費交付金により、国内外の民間団体（NGO・NPO）が行う環境保全活動へ支援を行っています。



\ follow us! /



独立行政法人 環境再生保全機構 URL: <https://www.erca.go.jp/jfge/> E-mail: c-kikin@erca.go.jp
 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー8F
 発行/独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部基金管理課 TEL: 044-520-9606 FAX: 044-520-2192 編集協力/株式会社文化工房



ライフスタイルが変わる サーキュラーエコノミー

Circular Economy

SDGs や脱炭素、生物多様性に続き、近ごろ話題の「サーキュラーエコノミー(循環経済)」。
地球環境と経済活動を両立させるために、使い手にも作り手にも発想の転換が求められています。
新しい循環型社会を作るために私たちは何をすればいいのでしょうか？

「地球の有限性」をベースに モノに対する発想の大変革が進行中

人類の活動が
地球の許容量を超えつつある

サーキュラーエコノミーとは「たくさん作ってたくさん売る」消費型ビジネス社会から脱し、プラスチックに代表されるリサイクルなどの「循環」が、あたりまえに成り立つ経済・社会を目指す考えです。環境問題の枠にとどまらず、社会の仕組み自体を変え、環境と経済を両立させていく点が特徴です。EUが牽引役となり、今、アメリカ、アジア、アフリカ、中南米にも広がっています。

これまでの3R(リデュース・リユース・リサイクル)などの環境への取り組みは「ごみをどうしようか？」という問題でしたが、サーキュラーエコノミーは「地球をどうしようか？」という視点で考えます。背景にあるのは、地球の有限性です。人類の活動が地球の許容量を超えつつある危機感があります。現在の経済活動のままでは、2060年には金属や化石燃料などの材料資源の需要が2.1倍になるといふ調査結果[※]があり、それらがモノ

になり消費され廃棄された場合の環境汚染は深刻で、人類に甚大な影響を与えることが予想されます。地球の有限性の範囲内で人類が豊かに暮らし続けるためには、世界規模での対策が不可欠です。

一人ひとりが少しずつ
面倒を引き受けていく覚悟を

サーキュラーエコノミーは、私たちのライフスタイルに大きな意識変革を求めます。ユーザーは「消費者ではなく使用者として」の行動変容が欠かせません。

左ページの「車」の例にあるように、使い手はモノを買って消費するのではなく、所有するかしないかを含め、さまざまなスタイルで、有限であるモノを循環させ使います。作り手は、モノを作る時点で再利用を前提として、修理しやすいエコ設計にしたり、価値あるユーズド品を生む仕組みを考えたり、新品販売だけでないビジネスを展開します。これにより、モノを捨てるタイミングやパーツが減り、多くのモノがごみではなく資源として循環されます。

お話を伺ったのはこの方



東京大学大学院
工学系研究科
人工物工学研究センター
教授
梅田 靖さん

東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻博士課程修了、博士(工学)。エコデザインをテーマにライフサイクル工学、持続可能社会シナリオ設計方法論などを研究。製造業における環境政策や環境ビジネスに精通。

サーキュラーエコノミーの実現には、私たち一人ひとりが使い手として、ちよっとした面倒を請け負うことが必要です。カーシェアリングやランドリーの活用、プラスチックの分別などはどうしてもひと手間かかります。しかし、これらをみんなが引き受け、習慣化できれば世界は変わります。そのためには「環境のため」だけではなく、「こっこのほうが便利だから・素敵だから」といった体験価値を伴うことが大切でしょう。サーキュラーエコノミーが世界のマジョリティになれば、未来を変えることができるのです。

[※]経済協力開発機構(OECD)「2060年までの世界物質資源アウトルック2018」

車で考えてみよう



身近な「車」を例に、サーキュラーエコノミーの実践について
「使う人/ユーザー」と「作る人/メーカー」の立場から見てみましょう。

使う人 (user)

車を「持たない」
のもアリかも!

Repair
(修理する)

Reuse
(何度も使う)

Reduce
(減らす)



マイカー



カーリース



レンタカー



カーシェア



NOカー

所有 ←

→ 非所有

そもそも車を所有するか?しないか?から考えてみることも、サーキュラーエコノミーの実践の第一歩。長期レンタルするカーリースや近年増えているカーシェアリングなど、じつは幅広い選択肢が考えられます。「所有する」以外を選択する人が増えると、そこにまつわるサービスによって新たな雇用が生まれたり、企業の競争力が上がったりして、経済を回すことができます。所有する際にも、新車か中古車か、ガソリン車か電気自動車かなど選択肢はさまざまです。

作る人 (maker)

いろんな「Re」ができる
エコデザインにしよう!

Reconditioning
(整備する)

長寿命に!

再製造
しやすく!

Remanufacturing
(再製造する)

修理・整備
しやすく!



素材をリサイクル
しやすく!

Recycle
(素材を使い回す)

Refurbish
(再生する)

新車同様に
磨き上げる!

そもそも車を作る段階で、修理やパーツ取り替えのしやすさ、他の製品と組み合わせてアップサイクルや再製造ができる仕組み、素材リサイクルのための材質成分表示などを考えておくことが重要。もちろん長く使えることも大切です。

助成団体の中から、サーキュラーエコノミーにつながるライフスタイルやフードシステムの転換に取り組む2団体を紹介します。

CASE.1 市民に広くライフスタイル転換を



企画広報室
室長 井上和彦さん
内藤光里さん

公益財団法人

京都市環境保全活動推進協会

京都市

活動名 脱炭素ライフスタイルの実践に向けての多面的アプローチ

市民活動の中で 脱炭素へのアクションが着実に広がる 「京都モデル」をつかって全国へ



実践につながるためには、**的確な発信やアプローチが大切**

2050年までに脱炭素社会を実現するためには、多くの人のライフスタイルの転換が不可欠です。私たちが目指すのは、京都市において脱炭素ライフスタイルを選択し、実践する人を着実に増やすことです。

1997年、地球温暖化対策について国際的な約束として初めて採択された「京都議定書」。KYOTOは地球環境を語る世界中の人たちにとって、ひとつの共通語でもあります。そんな京都市では早くから環境対策に取り組み、2020年には、ピーク時に比べエネルギー消費量31.1%減を実現しています。しかし、家庭でのエネルギー消費量を目を向けると、ほぼ横ばいが続いています(クイズ参照)。これからさらに脱炭素を進めるためには、一人ひとりのライフスタイルの転換が必要なのです。

脱炭素への関心は高くても、実践につながらない人が多いのはなぜなのか？京都市が2019年におこなった環境基本計画市民アンケートでは「環境教育・学習や環境保全活動に関する情報が十分に得られていない」と感じている人が、約7割にのぼり、これまでの情報発信とは異なるアプローチの必要性を感じました。そこで2021年、京都市と連携し、若者を中心とする市民、事業者、学識者とともに「京都

ひとつは、CO₂削減だけでは行動変容の動機にはなりづらいということ。「脱炭素ライフスタイルの見える化」として、製品のCO₂使用量がわかるカーボンフットプリントの活用を検討していたのですが、プレ調査として実施した小規模アンケートから、あまり効果的ではないことがわかりました。逆に、レストランで食べ残した持ち帰りサービスがあれば積極的に利用したい人が多いなど、お得や便利さが伴うと、自然に行動が変わることがわかりました。「動機の見える化」も大切ですが、知っているけれどやらない理由を浮き彫りにする「障壁の見える化」、そしてその障壁をどう解消するかを考えることが重要だと感じています。

もうひとつ、いくらアイデアがあっても、それを実行するプレイヤーがいないと活動が進まないということも課題です。例えば、環境負荷をかけない農業を営む農家の方が、その取り組みを伝えながら販売したくても、売る場や人手がない……。これは今年、学生が農家で農業体験をし、さらに売り子となつて、京都の中心地で地産地消につながる農産物イベントを開催することで実現できる予定です。プレイヤーになる市民や事業者を巻き込み、みんなで動くことが持続可能な活動には欠かせません。

発炭素ライフスタイル推進チームを立ち上げ、的確で多面的な働きかけをおこなうための活動を始めました。

行動変容のきっかけを探る1000人アンケート

2022年度からは地球環境基金の助成を受け、「脱炭素ライフスタイルの見える化」「市民の脱炭素ライフスタイル調査」「多様な手法を用いた市民参加型行動促進」を柱に、活動を進めています。

着実に脱炭素ライフスタイル実践者を増やすためには、まず市民のみならず、本音はどう思っているのか、いったい何が脱炭素ライフスタイルにつながる行動のきっかけになるのかなど、現状を把握することが大切です。「市民の脱炭素ライフスタイル調査」では、誰に、どのように聞くかを、約1年かけ専門家とともに考え、アンケート内容を練り上げてきました。消費・移動・食・住という4つのカテゴリーごとに40の質問を設け、これから1000人へのアンケート調査が始まります。調査対象者には学生も多いので、「住」に対するアクションはしづらいことが予想されるので、「消費」や「移動」など身近な行動に関わる設問も盛り込みました。

この1年は下準備やヒント探しのフェーズでしたが、得るものがいくつもありました。

**祇園祭でリユース食器を広め
プラスチックを減らす活動も**

2018年度からの3年間は「プラスチックごみ削減活動を通じた住民と観光客の持続可能な共存」をテーマに、地球環境基金の助成を受け活動をしていました。露店などでリユース食器を使う「祇園祭ごみゼロ大作戦」では、2019年に193店舗で18万個以上のリユース食器が導入され、2013年に比べて全体の廃棄物量を2万5千kg削減することができました。プラスチックを出さず、食器を循環して使うというサーキュラーエコノミーにつながるこの取り組みは、今も続いています。全国のお祭り主催者らが視察に来ることもあります。

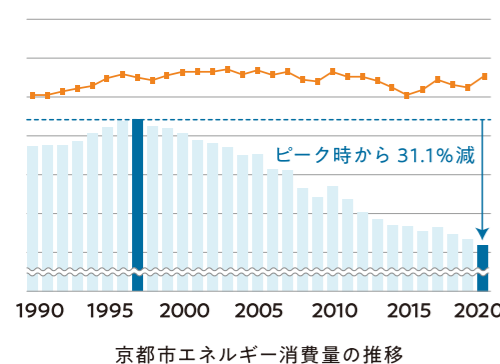
京都は発信力のある都市なので、目下進行中の脱炭素ライフスタイルの活動も、全国へ波及することが最終目標です。そのためにも、脱炭素ライフスタイルへの転換を実現できる「京都モデル」を作りあげたいと思っています。



「祇園祭ごみゼロ大作戦」で導入したリユース食器。

Quiz!
コレ
な〜んだ?

棒グラフは「京都市の総エネルギー消費量」です。では、**オレンジ色の折線グラフ**は为什么呢？



答えは「家庭部門エネルギー消費量」。市全体では減っているのに個々の生活では、ほとんど削減できていないことがわかります。



2023年1月に開催した、オンライン「広報検討会」。市民参加型行動促進を進めるために、地域振興や市民活動、デザインなどの分野で先進的な活動を行っている方たちをアドバイザーに迎え、どのような広報ツールが効果的かを議論。



「2050MAGAZINE」では、公園でコンポスト堆肥回収会を開催した「地域での生ごみ堆肥の活用推進プロジェクト」などを紹介。多くの人に情報が届くようさまざまな方法で情報を発信中。



協会が京都市とともに事務局を務める、京都発炭素ライフスタイル推進チームが中心となり、市民の環境アクションを広げる多彩な情報を発信するWEBマガジン「2050MAGAZINE」。
<https://doyoukyoto2050.city.kyoto.lg.jp>

「若手プロジェクトリーダー研修」を通じて 初めて他の環境NGO・NPOの人たちと交流。とても心強いです！

NPO法人「日本で最も美しい村」連合は、小さくてもキラリと輝く地域資源や美しい風景をもつ町村地域の景観や文化を守りながら、地域活性化と自立した地域運営を目指す団体です。私たちは加盟町村地域同士の学び合いの場作りや地域の若者を集めた「未来創造会議」の企画、フォーラムやマルシェなどの活動普及イベントを実施しながら、加盟する61の町村地域のつなぎ役をしています。



私たちの団体が助成を受けるのは、地球環境基金が初めてでした。環境活動をしている先輩に地球環境基金のこと、そして、若手プロ

ジェクトリーダー研修のことも「すごくよかったです！」と聞いていたので、研修に参加するのが楽しみでした。普段の活動ではなかなか他の団体と関わる機会がないため、研修に参加して初めて知ることは多いです。現在、研修1年目ですが、まず同期の人たちのほとんどが海外を拠点に活動していることに驚きました。ただ、話してみると、活動の場や内容は違って、ぶつかる壁など共通する点が多いこともわかりました。今では同期のグループLINEで気軽に質問や事例の共有などを行っています。ファンディング※に詳しいメンバーもいて、心強いです。

研修ではさまざまなワークに取り組みますが「価値観の違いのワーク」はとくに勉強になりました。同じ文章を読んでも、それぞれのバックグラウンドによって解釈が違うことを痛感。NPOの活動にとって共感者を増やすことはとても大切で、その意味



でも、自分と他人には異なる価値観があることを再認識できたのはよかったです。この経験から、団体活動自体にも客観的な視点や別の価値観が必要なのではないかと感じて、第三者に入ってもらったところ、意見交換を活性化することができました。

今後はチャンスがあれば、同期の人たちの活動を、実際に見に行ってみたいです！

※活動資金の調達



特定非営利活動法人
「日本で最も美しい村」連合
浅田 陽子さん

若手プロジェクトリーダー研修とは？

地球環境基金では、これからの環境活動を担う人材を育成すべく、3年間の「若手プロジェクトリーダー研修」プログラムを実施しています。現在、7・8・9期生が研修中！

エコプロ2022に出展しました！

2022年12月7～9日、東京ビッグサイトにて『エコプロ2022』が開催されました。地球環境基金はプラスチックをテーマに、助成先団体の活動や、海辺の清掃活動でビニール袋の代わりにして実際に使用されている麻袋などを紹介。小中学生向け環境学習情報サイト「集まれ！グリーンフレンズ」の体験コーナーも好評で、たくさんの方々にご来場いただきました。



CASE.2

持続可能なフードシステムを目指して！

一般社団法人 日本サステイナブル・レストラン協会 📍日本全国

活動名 FMGの認知度を広げることで飲食店を軸にフードシステムのサステナビリティを推進する
(オーガニック野菜、持続可能な水産資源、食品ロスの提言、自然エネルギーの使用を促す)

世界基準の新しい格付けツールで 食のサステナビリティを広げていく

**調達・社会・環境の3分野で
飲食店のサステナビリティをチェック**

今、世界の食料の約3分の1が廃棄されており、食品廃棄物が原因の温室効果ガス排出量は、年間総排出量の推定8%を占めます。私たちは、食の仕組みをサステナブルに変えることにより地球環境の改善に貢献できると考え、2018年から、SRA(サステイナブル・レストラン協会)英国本部と連携し、日本における飲食店のサステナビリティ向上のための活動を続けています。

活動の核となっているのは、食の新しい世界基準「FOOD MADE GOOD」です。「調達・社会・環境」の3つを柱に、飲食店におけるサステナビリティを推進するためのフレームワークで、3分野・計250の質問と自店の取り組みを照らし合わせることで、店をサステナビリティの観点からレーティング(格付け)できたり、レストラン運営をよりサステナブルに改善する手がかりを得られたりします。

例えば、「環境」では食品ロス削減、エネルギー効率の向上(再エネ・自然エネルギー使用)、使い捨てプラスチック製品の不使用、「調達」では地産地消によるカーボンフットプリントの削減、旬の食材の使用、サステナブルシーフード、「社会」では従業員の労働環境、地域社会への貢献、健康的な食事と

2022

星ナシから3つ星まであるFMGレーティング。

「FOOD MADE GOOD Japan Awards 2022」授賞式。アワードは成功事例やアイデアなどを共有する貴重な場。

いった、幅広い視点が含まれています。年に1度、レーティングに参加した飲食店を表彰する「FMGアワード」も実施しています。大賞、各部門賞(調達・社会・環境)に加え、2022年からはサーキュラーエコノミー賞が加わりました。初のサーキュラーエコノミー賞を受賞したのは、複数の加盟店で紙パックリサイクルを実践しながら、お客様への啓発活動にも熱心に取り組んだレストランです。市の環境局や商工会、市長をも巻き込んで活動を広げていった実行力と発信力が評価されました。まずは、食に携わる人たちが「なぜサステナビリティの推進

地産地消や食品ロス削減を進めるために生産者とも連携。

をしなければならぬのか」を、それが納得して実践していくことが大切だと感じています。

このほか、世界中のシェフたちが地球環境に配慮したレシピを紹介する「ワン・プラネット・プレート」キャンペーンなども促進しています。

**お店とお客様が変われば
フードシステム全体が変わる**

FMGのレーティングによって、サステナビリティに取り組み飲食店が評価される仕組みが広まれば、サステナビリティ視点で店や食を選択する人が増えます。それが生産から廃棄に至る、フードシステム全体を持続可能なものに変える力になると信じています。

多くの飲食店とつながりながら、FMGの認知度を上げ、このムーブメントを日本全国に広めていきます。

果樹の苗木作り実技研修では
接ぎ木などの技法を学びます



広大な休閑地が
立派な多目的樹の林に



3年後



マハマドバザールの
女性グループメンバー

テーマも取り組みも十人十色!

みんなの 環境活動

助成団体の活動の中から注目のテーマや
取り組みをクローズアップしてご紹介します

「アグロフォレストリー植林」で 乾燥地帯に持続可能な実りを

食料・燃料・飼料になる
多目的樹を植えていく

インドの西ベンガル州ビルブム県にあるマハマドバザールとラププール地区は、乾季の約8ヶ月間、雨がほとんど降らない極度の乾燥地帯です。近年は気候変動の影響もあり雨季の降水パターンも変則的になっていて、土壌浸食や緑地減少が進行し、土地の生産性が低下しています。

また、土地を持たない日雇い農業労働者が多い地域でもあり、その割合は州内で最も高い45%にのぼります。家庭燃料としてガスボンベを購入する経済的余裕がない世帯も多く、燃料の主役は薪です。安定した食料と薪の調達、そして、子どもたちの栄養改善が求められています。

私たちは2019年から、地球環境基金の助成を受け、この2地区の30の自助グループとともに、食料、薪燃料、飼料、飼料を得られる多目的樹

を植える「アグロフォレストリー植林」を進めています。

彼らは土地を持っていないため、植林には、公共地の荒地・休閑地、道路や水路沿い、池周り、田んぼ周り、家の周りの土地を活用しています。道路や水路沿いなどでは、ヤギに苗木を食べられてしまったり、田んぼ周りの土地では「田んぼが影になる」と地元の人に木を抜かれてしまったりもします。それでも3年間で計28ヘクタールの土地に45種類以上の多目的樹を約4万5000本、植えることができました。亜熱帯地方なので木の生育が早く、3年あれば立派に茂り、見た目にも植林の成果を感じる事ができます。その様子を見て、年々、村人たちの意欲が高まっていくのが嬉しいです。

家の周りの家庭菜園に取り組んでいるのは約600世帯。セメントバッグに土を入れ、袋でも育つかぼちゃ

などの野菜を作ったり、果樹の育成にも挑戦したり、食生活の改善につなげています。

このほか、薪燃料の節約と女性たちの家事時間軽減を狙い、熱効率のいい「無煙かまど」の家庭内設置も広がっています。

中学校を巻き込んで
植林と環境教育を進めていく

2022年からは、新たな植林地として学校周辺の土地の活用を始めました。学校を巻き込んで活動することで、子どもたちはもちろん、保護者も一緒に環境保全に対する意識を高めていくことができます。現在4つの中学校で、植林や多目的樹について学

大規模ミミズ堆肥ピット!



ぶ学習セッションを進めています。インドでは試験がとて多く、環境教育の時間がなかなか確保できないのが、もどかしいところです。

村人たちで自走でき
行きたいところへ行けるように

活動当初から、アグロフォレストリー植林を支える「育苗場」「雨水保水池」「屋根雨水集積タンク」、牛糞を使い燃料と堆肥をつくる「バイオガスプラント」や「ミミズ堆肥ピット」などにも取り組んでいます。現在は「大規模ミミズ堆肥ユニット」を設置し、大量の堆肥作りに挑戦。余剰分ができればそれを販売して収入を得ることもできます。種子銀行の設置も進んでいます。

NGOはその地域にずっといるものではありません。村人たちを乗せて永遠にバスを走らせるのではなく、自ら運転できるように、行きたいところに行けるようになってもらうことが目標です。そのためには、アグロフォレストリー植林だけでなく、環境教育も女性の社会参加も大切です。女性グループをはじめ、村人たちのモチベーションは高いです。植林経験者も増えてきました。広く地域住民の関心も高めていけるよう、活動をさらに発展させていきたいと思っています。

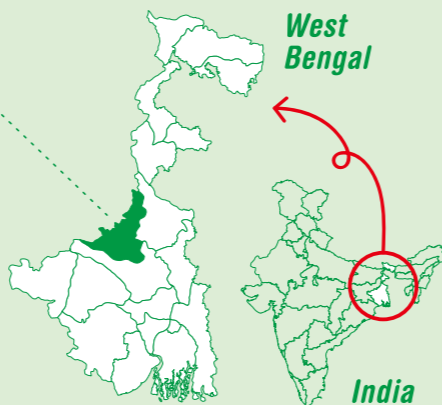
人気スイーツ ロショグッラ



手前の大鍋の中、砂糖シロップに浮いているのが「ロショグッラ」。地元っ子もフィールドワーカーもみんな大好きなスイーツ!

西ベンガル州 ビルブム県

西ベンガル州はインド東部に位置し、南はベンガル湾に面し、北は東部にブータン、西部にネパールと接する。州都はコルカタ。北部のダーズリン地方は紅茶葉の産地でも知られる。活動地であるビルブム県は長細い州の真ん中あたりにある。



西ベンガル州とは?

今回お話を伺ったのはこの団体

DRSC (Development Research Communication and Services Centre)

活動名 インド西ベンガル州ビルブム県における、学校や村落行政と自助グループが協働する地域に根ざした循環型アグロフォレストリーの実践技術の普及と環境保全啓発活動

DRSCは、インドのコルカタに本部を構え約40年にわたり、西ベンガル州で活動するNGOです。持続的農業、天然資源管理と食料安定確保、気候変動対応、環境教育をテーマに、現在11県で185名の職員・フィールドワーカーが活動。20のプロジェクトが進行中です。住民自らの力で活動が継続できることを目指しています。

団体の設立年 1982年

本活動の開始年 2022年 地球環境基金の助成年数 1年目(2019年から引き続き4年目)



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

MS&ADゆにぞんスマイルクラブ

本社所在地 東京都渋谷区

URL <https://aioinissaydowa.co.jp>

損害保険事業において国内トップシェアを誇る、MS & ADインシュアランスグループ。その中核保険会社のひとつである、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、事業を通じて、社会・地域課題の解決に取り組むなど、新たな保険の価値創造に挑戦しています。社員一人ひとりが月々100円から参加できる募金制度「MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」を通じて、地球環境基金へもご支援をいただいています。環境保全や社会貢献につながる、ユニークな保険商品や取り組みについて伺いました。

「地球環境」と「保険」。一見かけ離れているように感じますが、どのような取り組みを進めているのでしょうか？

今、世界中の企業が取り組んでいるように、私たちもSDGsを道しるべに「レジリエントでサステナブルな社会」の実現に向けた、さまざまな取り組みを進めています。その核となっているのが「CSV×DX（シーエスブイバイディーエクスクス）」という考え方です。CSV（Creating Shared Value）は「社会との共通価値の創造」の意味で、事業を通じて社会課題を解決することから生まれる社会価値と企業価値を両立させること。DXはデジタルトランスフォーメーションで、データやデジタル技術を活用し、価値提供を変革させることです。

具体例を挙げてわかりやすくご説明します。当社の「テレマティクス自動車保険」は、ドライブレコーダーやGPS機能などを搭載した小型の通信車載器を通じて、ドライバーの運転状況をスコア化し、スコアに応じて保険料の割引が適用される商品です。運転状況が見える化され、安全運転意識が向上し、事故を未然に防ぐことにつながっています。従来の自動車保険は、万が一の事故に備えて加入する、いわば「事故のあと

の保険」でしたが、テレマティクス自動車保険は、データ・デジタル技術を活用した「事故を未然に防ぐ保険」というわけです。

なるほど。まさに保険における新しい価値創造ですね。

はい。さらに、このテレマティクス自動車保険を通じて得られたデータは、「交通事故リスクを減らす」という地域課題の解決にも役立っています。ある自治体では都市計画道路整備に伴う交通環境の変化により、新しい危険要因が発生していました。その対応として、テレマティクスデータを活用し一時停止の遵守傾向や急減速発生率の分析を実施。「止まれ」標識の設置等、交通安全対策の検討などに活用されています。

保険を通じて、個々の事故を予防するだけにとどまらず、さらに、地域課題も解決し、快適なモビリティ社会の実現にも貢献する。また、安全運転はCO₂排出量を減らすエコドライブの促進に、事故の低減は修理部品や廃棄物の減少にもつながることから、気候変動課題にもアプローチしています。私たちは皆さまとともに保険の価値を進化させ、その価値の連鎖により良い未来をつくることに挑戦していきたいと考えています。

生活に根付いた細やかな課題解決は、地元の方々にも喜ばれそうです。

私たちは行動指針に「地域密着」と「情熱」を掲げています。2016年に立ち上げた「地方創生プロジェクト」では、451（都道府県/37、市区町村/414）の地方公共団体と連携協定を締結しています（2022年12月末時点）。社員一人ひとりが社会・地域の課題に自分ごととして取り組み、お客さま、代理店、取引先をはじめ、自治体、地域の金融機関や企業の皆さまとともに、各地域の課題解決を目指し動いています。自分たちだけでなく、ステークホルダーの皆さまと対話し、ともに進めることを大切にしています。



2019年より取り組んでいる「あいおいニッセイ同和損保の森」植林活動。取り組み開始から3年経過し徐々に拡大しつつあります。

環境保全などに関する、そのほかの取り組みについても教えてください。

保険業界は紙資料が多いのですが、当社ではペーパーレス保険証券・Web約款（やっかん）を導入し、お客さまの選択に応じて、各地域のNPO団体や地方公共団体への寄付活動をおこなうなど、紙資源の削減と環境保全取り組みの支援をしています。このほかにも、北海道美幌町の「あいおいニッセイ同和損保の森」植林活動、グループ全体では「MS&ADグリーンアースプロジェクト」として湿地・里山・藻場の保全などにも取り組んでいます。

社内においては「サステナビリティ CSV×DX大賞」という表彰制度があり、日々の業務がサステナビリティやSDGsにつながっていることを意識するきっかけになっています。2022年度は気候変動に起因する防災・減災の取り組みが大賞に選ばれました。

保険商品としては、企業向けの火災保険で、建物や設備の修復時にCO₂削減対策をおこなうことよって増加した追加費用をお支払いする「カーボンニュートラルサポート特約」を販売。食品事業者さま向けでは、賞味期限の誤表示などによりリコールを実施する際、品質に問題がない食品を提携業者が買い取り食品ロスを軽減

【テレマティクス自動車保険における効果】



テレマティクス自動車保険は、ドライブレコーダーやGPS機能などのデータ・デジタル技術を活用して事故を未然に防ぎ、万が一の事故の際には自動通報サービスや、データを活用した高度な事故対応により迅速・的確な事故解決を支援する保険です。

保険の価値を進化させ、
社会・地域の課題を解決。

そして、地球環境と共生する社会へ。

減する「食eco」という商品も提供しています。

損害保険業界は多岐にわたる業種のお客さまと保険引受や投融资などの取引があります。事業活動を通じて地球環境の保全などを考えることで、ステークホルダーの皆さまとともに社会全体の課題解決に貢献できると考えています。これからも情熱を持って取り組んでまいります。



左から、経営企画部サステナビリティ推進グループ、主任の白川迪崇さん、グループ長の宮崎健太朗さん、担当課長の米村直子さん。

CSV×DX
紹介動画はこちら



第8回 全国ユース環境活動発表大会地方大会 開催報告

日本全国のユース世代による自主的な環境活動の継続、発展、ネットワーク拡大を目指す「全国ユース環境活動発表大会」。
8カ所で地方大会が開催され、お互いの日ごろの環境活動を発表することで学びを深めました。
どの学校も高校生ならではの視点や独自のアイデアにあふれ、熱意を持って意欲的に活動していました。
8地方から各2校、計16校の全国大会出場が決定しています。

主催：全国ユース環境活動発表大会実行委員会（環境省・独立行政法人環境再生保全機構・国連大学サステイナビリティ高等研究所）
後援：読売新聞社
協力：地方環境パートナーシップオフィス（EPO）／地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）／ESD活動支援センター
協賛：キリンホールディングス株式会社／協栄産業株式会社／SGホールディングス株式会社／株式会社タニタ



地方大会出場校 ※★マークの付いている団体は、全国大会出場団体です。

北海道地方大会	市立札幌開成中等教育学校	北海道大野農業高等学校	北海道士幌高等学校★	北海道羽幌高等学校★	北海道美幌高等学校
東北地方大会	青森県立名久井農業高等学校① 岩手県立花巻農業高等学校★ 宮城県多賀城高等学校	青森県立名久井農業高等学校② 秋田県立新屋高等学校 宮城県農業高等学校★	青森県立むつ工業高等学校 秋田県立能代松陽高等学校 山形県立山形西高等学校	青森県立三本木農業進拓高等学校 秋田県立大館鳳鳴高等学校	
関東地方大会	栃木県立矢板東高等学校 千葉県立安房高等学校 東京都立国分寺高等学校	栃木県立真岡北陵高等学校 東京都立府中東高等学校 静岡県立駿河総合高等学校	群馬県立尾瀬高等学校 晃華学園中学校高等学校★ オイスカ浜松国際高等学校	群馬県立藤岡北高等学校★ 東京都立南多摩中等教育学校	
中部地方大会	福井県立福井商業高等学校 長野県佐久平総合技術高等学校★	福井県立大野高等学校 岐阜県立岐阜高等学校 八百津高等学校	福井県立若狭高等学校① 愛知県立佐屋高等学校★	福井県立若狭高等学校② 愛知県立半田商業高等学校	
近畿地方大会	京都府立宮津天橋高等学校 大阪府立長尾高等学校 兵庫県立篠山東雲高等学校	大阪成蹊女子高等学校 大阪府立みどり清朋高等学校 兵庫県立播磨農業高等学校	大阪府立堺工科高等学校★ 兵庫県立豊岡総合高等学校 奈良育英高等学校	大阪府立豊中高等学校能勢分校 兵庫県立伊川谷高等学校	
中国地方大会	岡山県立笠岡高等学校 岡山県立倉敷青陵高等学校 山口県立下関西高等学校①★	岡山県立玉野高等学校 出雲西高等学校 山口県立下関西高等学校②★	岡山学芸館高等学校 広島県立祇園北高等学校①	岡山県立岡山一宮高等学校① 広島県立祇園北高等学校②	
四国地方大会	香川県立多度津高等学校 愛媛県立土居高等学校	徳島県立徳島商業高等学校 愛媛県立小松高等学校	愛媛県立長浜高等学校★	愛媛県立松山北高等学校	
九州・沖縄地方大会	福岡工業大学附属城東高等学校 大分県立大分工業高等学校 長崎県立諫早農業高等学校①	博多女子高等学校 熊本県立熊本農業高等学校★ 鹿児島県立屋久島高等学校	古賀寛成館高等学校 熊本県立宇土高等学校 沖縄県立北部農林高等学校	大分県立大分商業高等学校★ 長崎県立対馬高等学校	

編集後記

サーキュラーエコノミー特集、いかがでしたか？

モノは所有するだけでなく、さまざまな選択肢があることを知りました。自分に合った方法を選べば、毎日の生活がより豊かになるかもしれません。地球のためにできること。ちょっとひと手間も楽しみながら、モノと思いが循環する社会に。



今号の表紙は、さまざまな「Re」によってモノや暮らしを巡らせるイメージと、輪の中に入る楽しさを、イラストで表現しました。



基金へのご支援をありがとうございます

皆さまのご協力が、多くの環境保全活動、持続可能な社会実現への支えになっています。個人や企業・団体としてご協力いただいた方はもちろん、さまざまなイベントを通じて募金活動にご参加・ご協力いただいた大勢の方々に深く御礼申し上げます。

2022年7月から12月末日現在までに、604件、総額 **5,538,832** 円のご支援をいただきました

個人	企業	国・地方公共団体	その他			
青木 滋一 青木 大地 安藤 弘海 飯田 浩二 飯田 登代子 池田 朝雄 石川 倫 石田 洋子 伊藤 文子 井上 栄子 井上 雅晴 今田 圭孝 植松 太郎 大木 恒和 岡本 昇 小澤 朱美 笠井 洋 加藤 信幸 門畑 裕美子 上村 弘	加茂田 陽一 菊池 健 菊池 裕子 國松 一樹 小林 大 小林 由紀 小山 明子 崎山 泰樹 櫻木 薫 笹生 真悟 佐野 郁夫 篠原 泰 大宝院 良子 高島 由美子 高橋 秀忠 田口 修冬 田中 順子 谷山 正恵 中大路 耕平 中川 俊二	中原 宏 永見 泰宏 西島 博子 野崎 眞岐子 野田 好和 橋本 雄次 長谷川 美豆乃 土生 亜紀子 福與 英明 藤岡 俊輔 藤田 周一 増田 正博 松崎 若草 武藤 超 村上 基 安岡 要 吉田 龍貴 吉田 実 渡邊 憲人	あおいニッセイ同和損害保険株式会社 MS&ADゆにぞんスマイルクラブ イーパートナーズ株式会社 SGホールディングス株式会社 M.G.I.T.Japan.Export株式会社 オリンパス株式会社 株式会社IBS 株式会社REJ 株式会社エースランドリー 株式会社s.create 株式会社コクゴ 株式会社ジャパンクリエイト 株式会社橋フォーサイトグループ 株式会社宮城運輸 総務部 株式会社宗平 協栄産業株式会社 キリンホールディングス株式会社 五島冷熱株式会社 三宝電機株式会社 竹内工業株式会社 ツアン・システム有限会社 續特許事務所 鳥本鋼業株式会社	名古屋ハイウェイ株式会社 ファミリーマート八王子甲州街道店 富士通静岡Hub ポケットカード株式会社 明治安田生命 法人サービス部	上越市 大島区総合事務所 東温市役所 市民福祉部 環境保全課 富沢市民センター 滑川市 富士市役所	岩倉市環境フェア2022実行委員会 エコプロ2022 学校法人玉川学園 Pixel Anglers NFT まちカフェ アルテ メディアデザイン

※このリストは、地球環境基金への振込通知書などに記載された名称・氏名に基づき作成しておりますので、個人および企業・団体などの区別につきまして必ずしも正確ではない場合があります。また、紙面の都合により、ご寄付・ご支援くださったすべての方々のお名前を掲載できない場合がございますので、ご了承ください。

■ご寄付口座のご案内

「地球環境基金」へのご寄付は、下記口座より受け付けております。同一金融機関でのお振り込みについては、取扱窓口でお申し出ください。

銀行名／支店名	口座番号	口座名称
ゆうちょ銀行	00190-664214	地球環境基金
新生銀行／本店	普通預金 0789699	独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金
三井住友銀行／東京公務部	普通預金 3013615	
三菱UFJ銀行／本店	普通預金 7637448	
みずほ銀行／本店	普通預金 2413416	
りそな銀行／赤坂支店	普通預金 1023850	

①独立行政法人環境再生保全機構は、特定公益増進法人に指定されており、税制上の優遇措置を受けることができます。
②ゆうちょ銀行以外の銀行からお振り込みいただく場合は、領収書が発行できません。領収書の発行を希望される方は、お手数ですが、地球環境基金部基金管理課（TEL:044-520-9606）へご連絡ください。

■ご寄付の方法

金融機関からのご寄付のほかにも多様な寄付方法をご用意しています。

基金サポーターから

クレジットカードのポイントから

スマートフォンから

マルチコピー機 募金受付サービスから

＼ご寄付はこちらから／

詳しくはWEBサイトをご覧ください

地球環境基金ホームページ
「ご寄付の方法」
<https://www.erca.go.jp/jfge/donation/raise/>

「本de寄付」から

「つながる募金」から

募金箱の設置から

相続財産から

PRESENT

お答えいただいた方の中から抽選で、10名様に地球環境基金オリジナル・エコボトル、3名様に平野レミさんのサイン色紙をプレゼントします。ご回答お待ちしております！



【応募締め切り】2023年8月末
【応募方法】アンケートはがき、WEBサイト

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

おいしい「環境活動」 教えてください!

明るいキャラクターと独創性あふれる料理で

私たちが元気づけてくれる平野レミさん。

環境を意識した暮らしや食生活など

レミさんの実体験を交えて教えていただきました。

日ごろの生活で
環境を意識すること、ありますか?

捨てる前に考える

私、用が済んだモノをそのまま捨てるってことができないよね。例えば、子どもが使わなくなった色鉛筆でアクセサリを作ったり、飲み終わったワインのコルクを板や花瓶に貼って額縁や植木鉢を作ったり。捨てる前に「何かに利用できないかな?」って考えるのって楽しいわよ。

環境のために
「アクションチェンジ」するコツは?

おもしろそう! やってみちゃう

私は昔から「もったいない」より「おもしろい」が先に来るの。思いついたらすぐに動いちゃう。食べ物は何をしたら食べられるんだから、大きな気持ちでやっちゃうのがいいわよ! うまくいかなくても失敗なんかじゃない。「あんまりおいしくなかったね」ってみんなで笑えばいいの。

食品ロスを出さない工夫を
教えてください

皮も芯も使う

そら豆の豆を包んでいる薄い皮があるじゃない? この間、あれを集めて素揚げにしたり、コトコト煮込んでポタージュにしてみたの。素揚げはちょっと固くて食べにくかったけど、ポタージュはすごくおいしくて、孫たちにも大好評! そんなふうにも、大根やじゃがいもの皮だって、どうもろこしの芯だって、普通なら捨てちゃうようなところも、私はどどん料理に使っちゃう。おいしく食べられてごみも減るから、一石二鳥よね!

平野レミ

料理愛好家、シャンソン歌手。
“シェフ料理”ではなく“シェフ料理”をモットーに、テレビや雑誌などでアイデアあふれる料理を発信。最新刊『エプロン手帖』(ポプラ社)をはじめ、著書は50冊以上にのぼる。

食材はどうやって
選んでいますか?

生産者を応援 する気持ちで

スーパーで食材を買うときは、見切り品や賞味期限が近いものを選ぶようにしてる。それから、野菜でも果物でも形の悪いものを買うの。そういうものを買うことが作っている人たちのためになる。生産者を応援する気持ちよね。規格外のものが捨てられちゃう世の中にならないように、消費者が賢くならなきゃダメよ!

レミさんちの「食育」について
教えてください

台所に立つ姿 を見せて 家の味

でつながっていく

子どもたちが小さい頃は、残さず全部食べさせるようにしてたわね。魚の骨や頭も、フライパンでカリカリに焼いてフードプロセッサーで粉々にして、白胡麻や海苔を入れて、ふりかけにしたりしてね。それから、宿題をするときは必ずキッチンで。私が台所でいろんなことをやってる姿を日常的に見せていたの。子どもたちがお腹を減らしていても、「もうちょっとよ、待ってて」って、包丁でトントン切る音だったり、フライパンでジュージュー炒める音だったり全部聞かせて。ワクワクしながら待つ時間も、ごちそうよね。そうやって育ったせいか、息子たちは今でもちゃんと料理をするんですって。やっぱり家の味って絆を生むものだと思うのよ。それを私は“ペロシップ”って呼んでいるんだけど、うちの場合はフランス人の祖父がよく作っていた、牛肉とトマトを炒めた“牛トマ”っていう料理が、両親、私、息子たち夫婦、孫まで5世代も続いている。舌でつながってるのよ! これも「食育」のひとつよね。子どもたちにはできるだけ手作りのものを食べさせてあげたいし、食にまつわる「どうして?」っていう質問にはいつだって答えてあげたいなって思ってる!

インタビューフルバージョンはWEBサイトで4月初旬公開予定!



平野レミさんの環境活動ニュース

[左] 食材を無駄なく使うだけでなく、牛乳パックやペットボトル容器を調理道具として再利用することもレミさんにとっては日常茶飯事。「牛乳パックを使った押し寿司は、手土産にもぴったりなの。だって立派な箱でもらうより、気軽でいいでしょ!」

[右] 食・健康・環境などのイベントに登壇することも多いレミさん。2023年1月には農林水産省の補助事業「お米についてまじめに考える。みんなの未来とお米のカンケイ」イベントにも登場。



中日新聞社提供

読者プレゼント!



アンケートに回答いただいた方の中から抽選で3名様に、サイン色紙をプレゼント! 詳しくはP13のはがき、またはWEBへ。

※WEBからのご応募は4月初旬より受付となります。

詳しくはこちら

